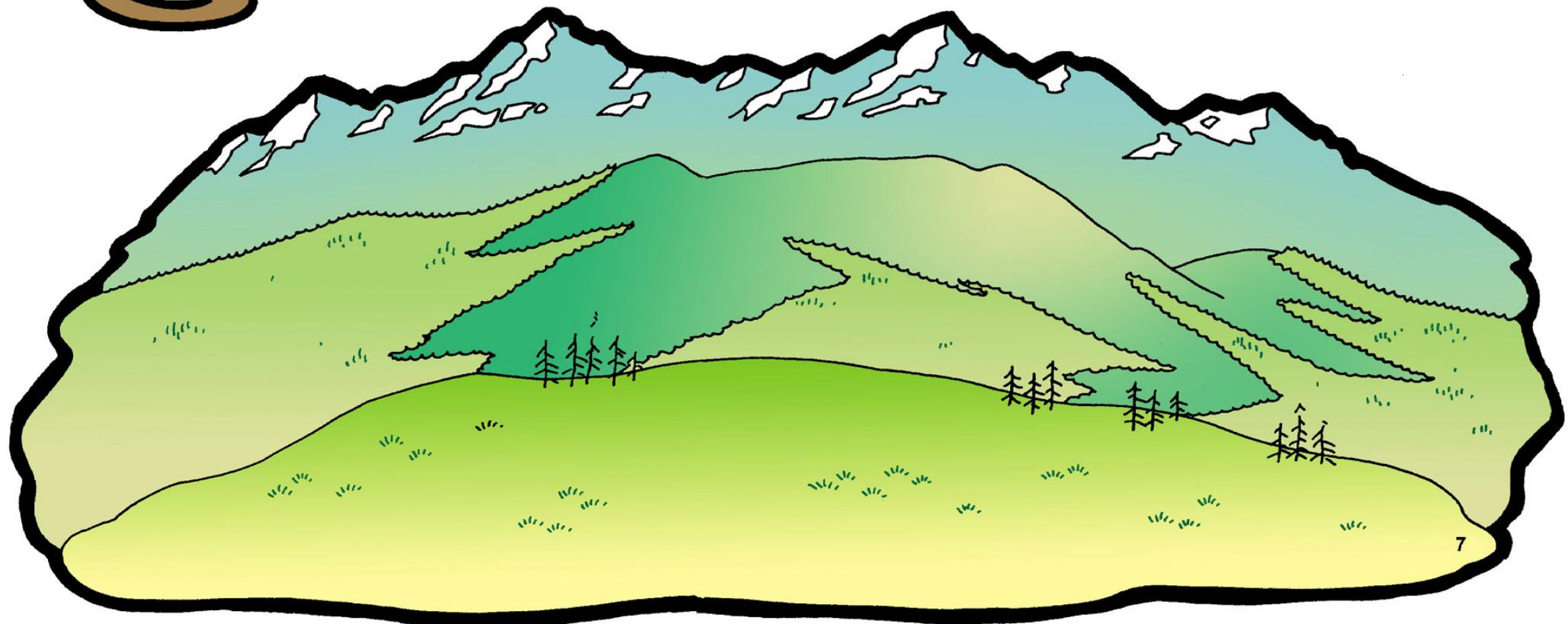
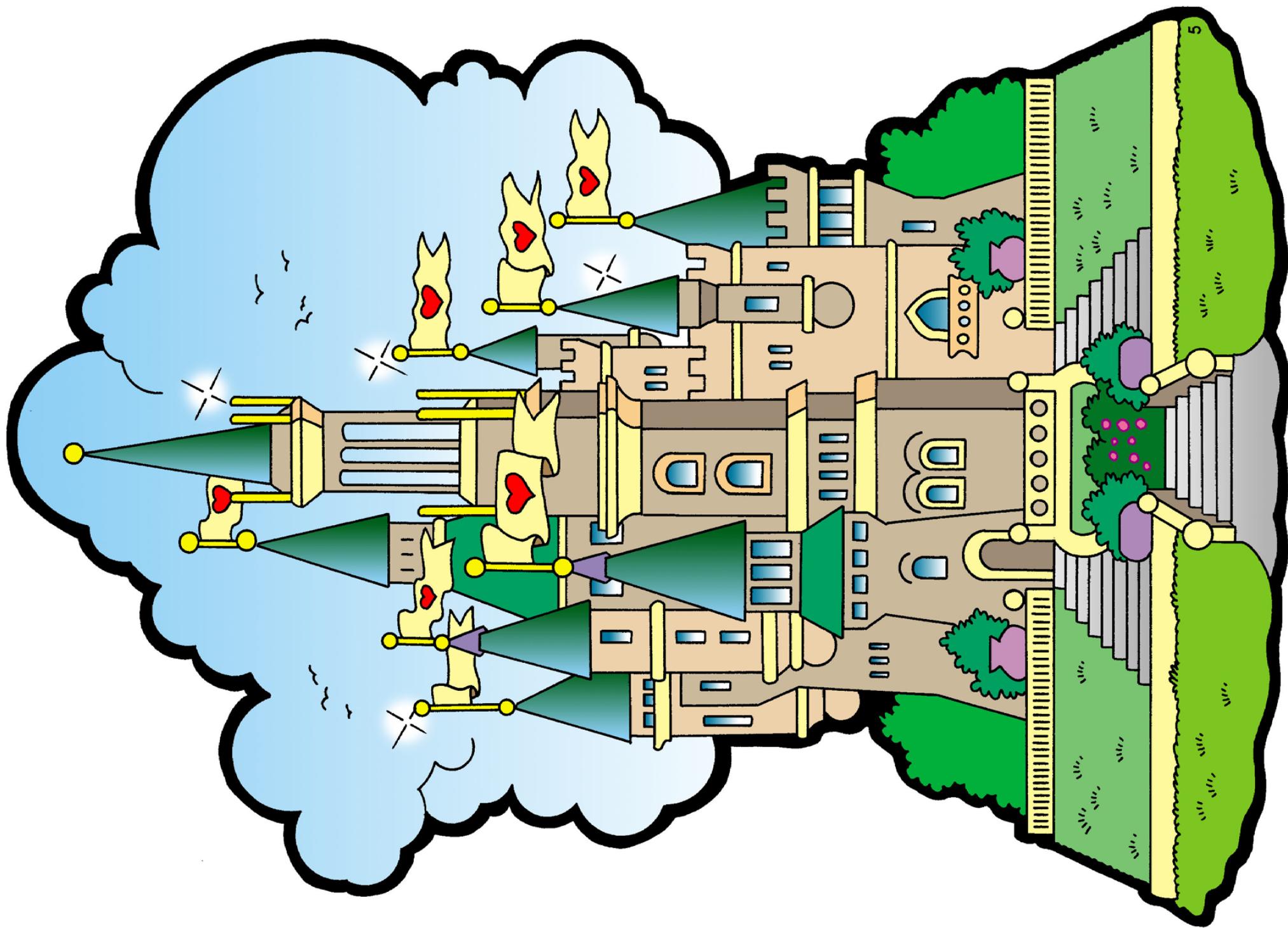


おうじ 王子と ふしぎな ちから! 力!

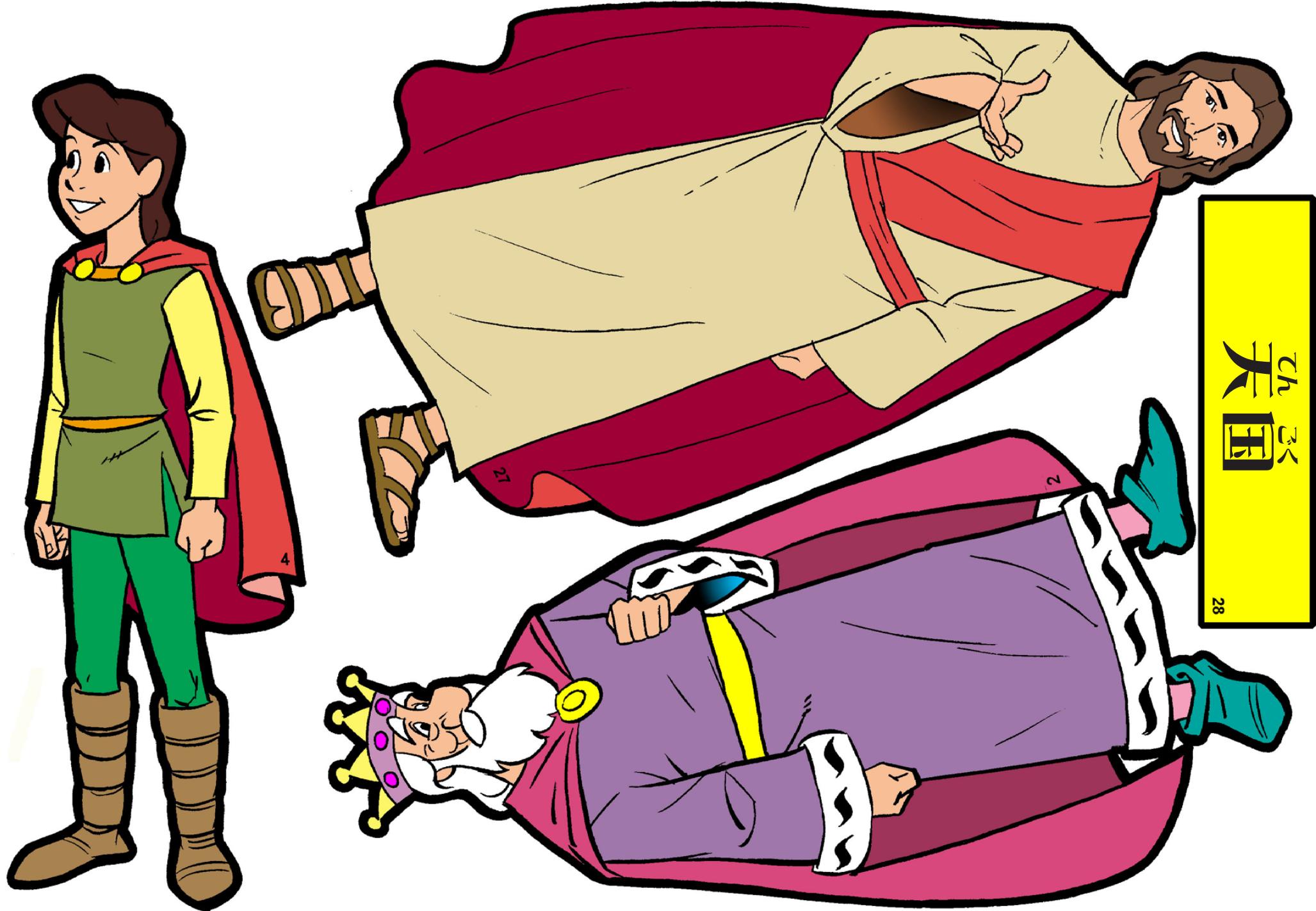


おうじ
王子と ふしぎな 力 - フランネルグラフ

この フランネルグラフは、「王子と ふしぎな 力」の お話を するのに 使います。その お話は こちら

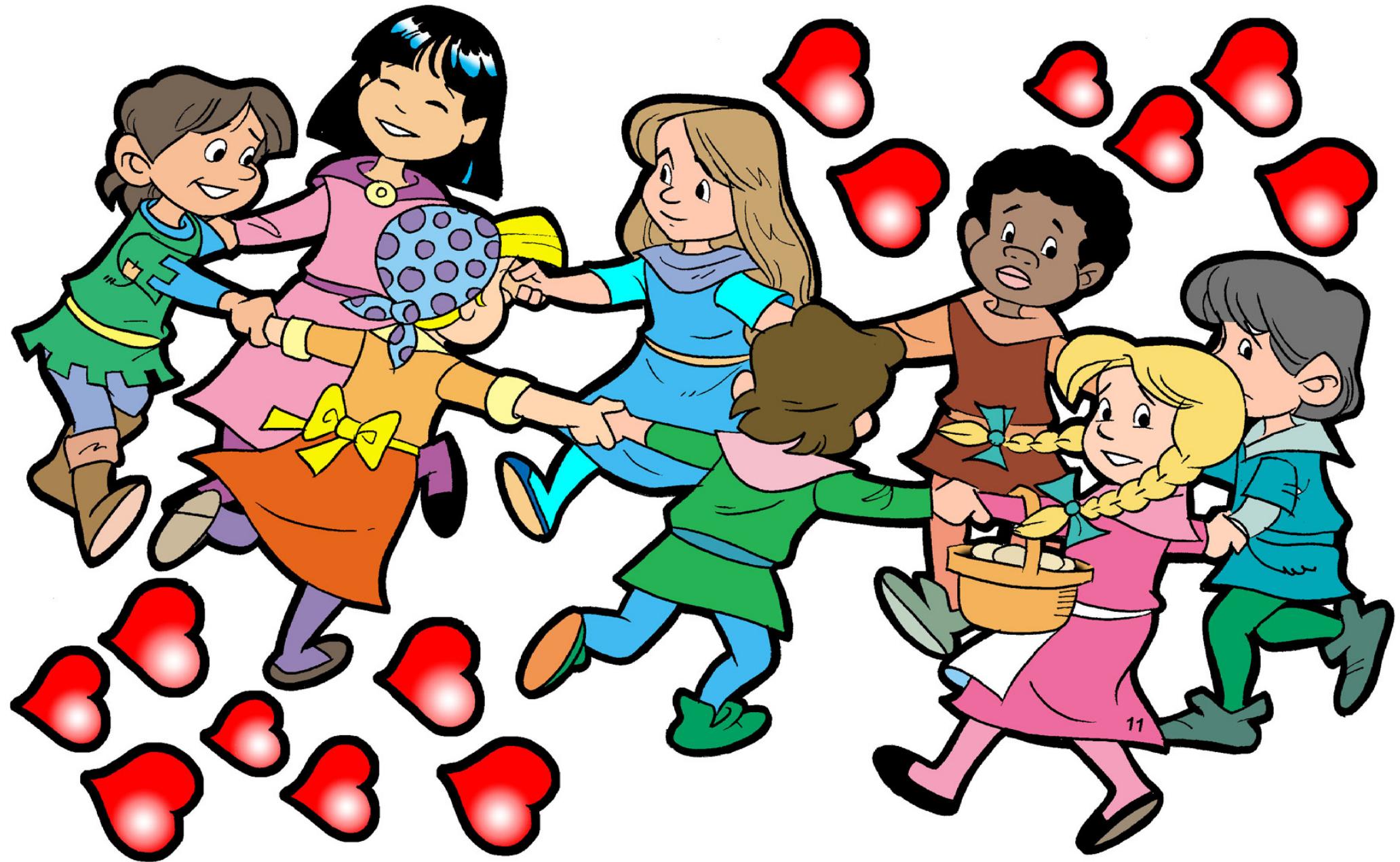


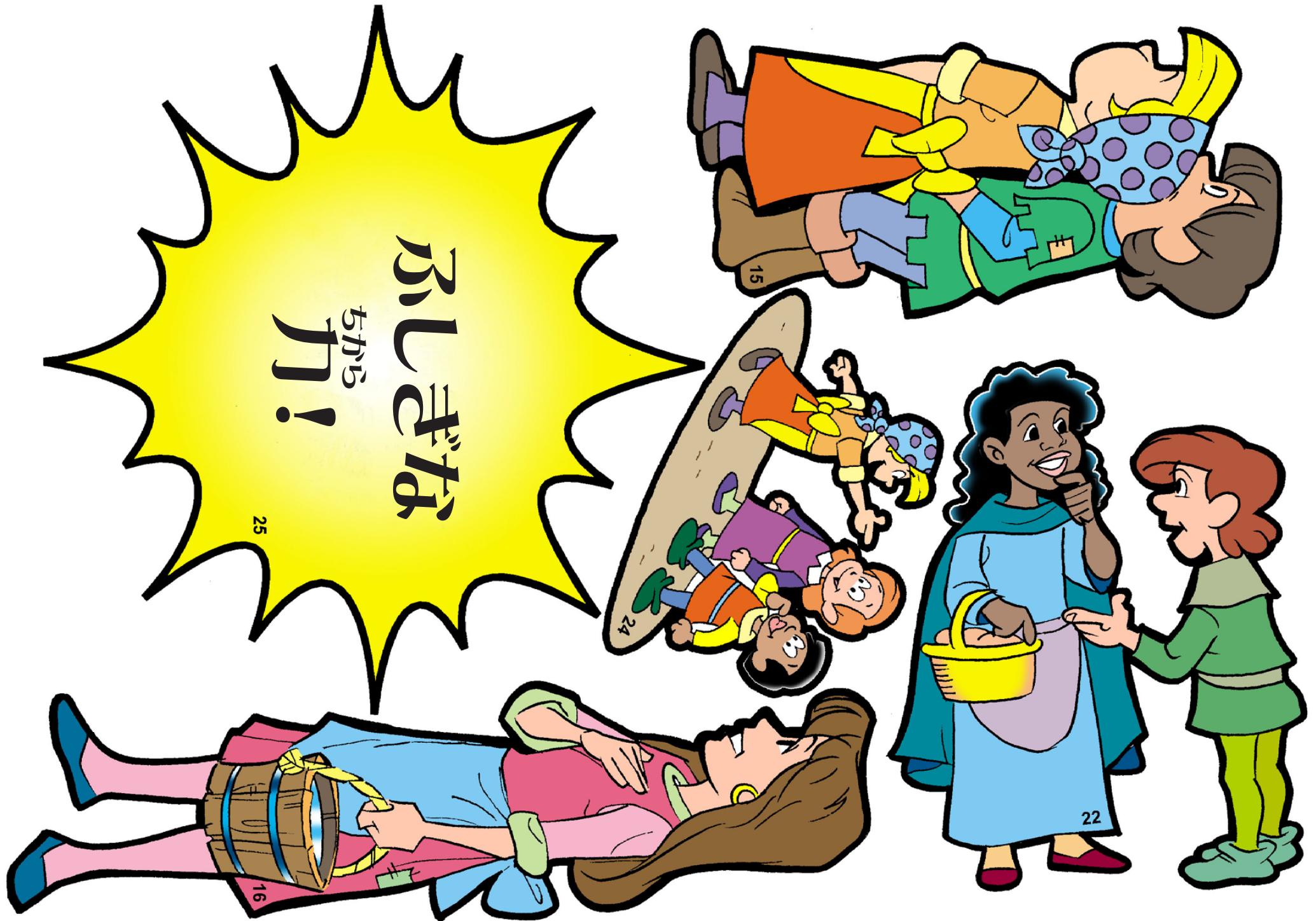


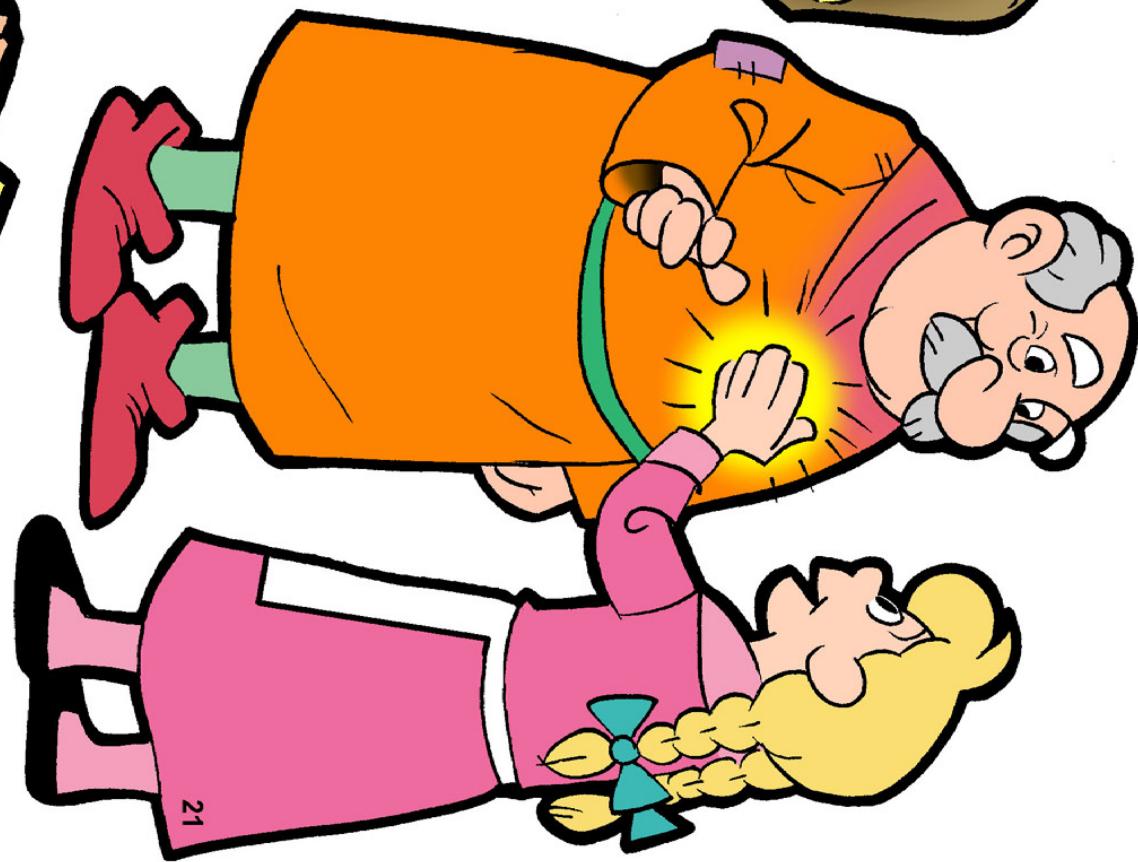
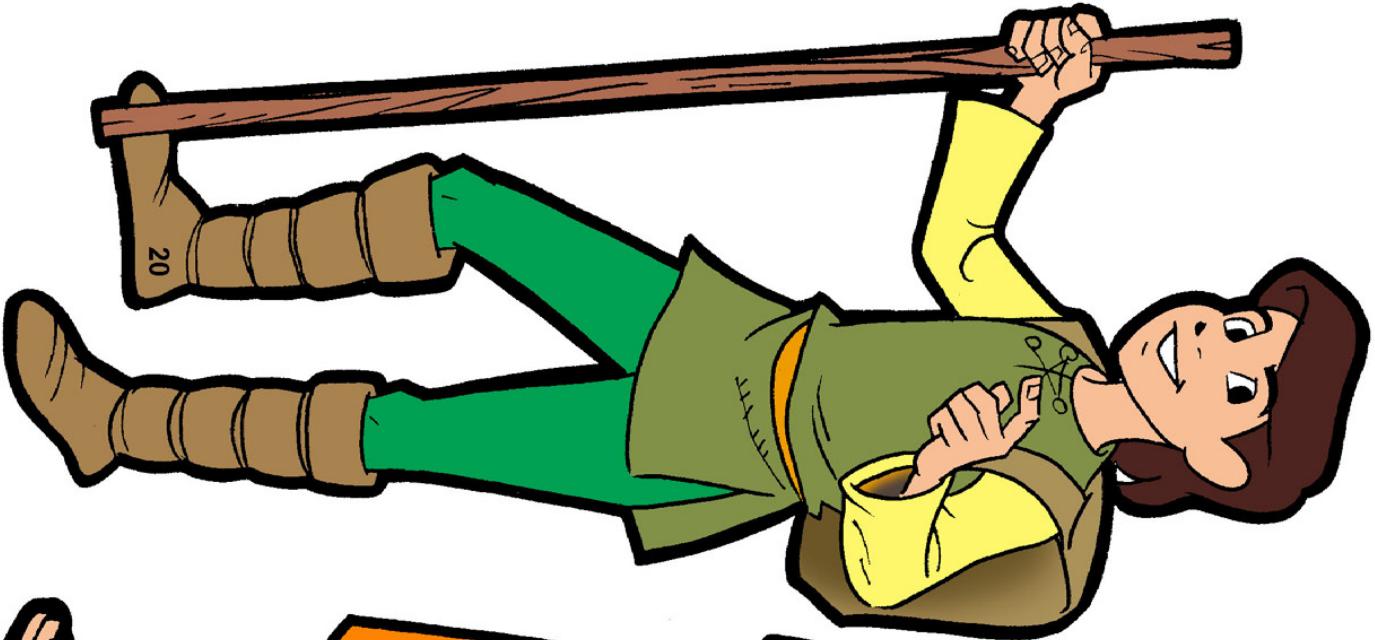


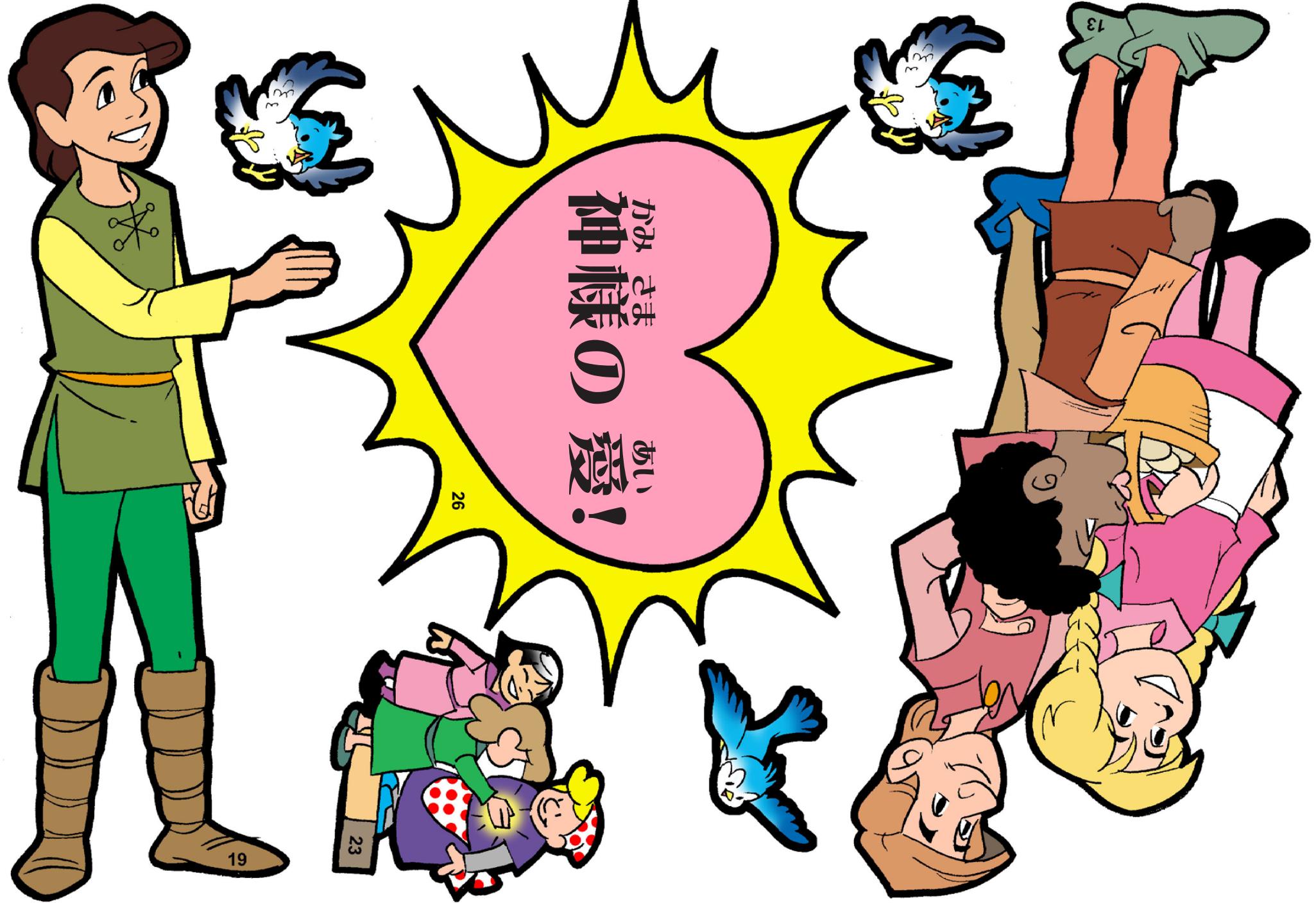
28













王子と ふしきな カーフランネルグラフ

ものがたり
(物語の タイトル#1を ボードに 置く。)昔々、遠い遠いある国に、若い王子が住んでいました。**(王子#4を 追加。)**王子は、父である王様と**(王様#2を 追加)**、美しいお城で幸せに暮らしていました。**(お城#5と 太陽#6を 追加)**。

(王様を 王子の となりに 移動する。)ある日、王様が王子を呼んで言いました。
「おまえにしてもらいたい、とても大切な任務があるのだが。」

やまと
「山の 向こうに ある 村に 行ってほしいのだ。**(山#7を 追加)**そして、その 村人たちに、われわれがこの国で満ちあふれるほどに持っている、この愛と喜びについて、話してやってほしい。おまえがいなくなると、わしは非常にさびしくなるし、おまえがいなくなると考えるだけで悲しくはなるが、おまえが任務を終えて帰ってくるまでのことだ。われわれが村人たちのことを気づかっていることを伝えるには、それしか方法がないのでな。」

はじめの うちには、王子も、愛する父のそばをはなれ、平和に満ちた、この上もなく幸せな国から出て行くことを考えてみるだけで、たとえそれがしばらくの間だけだとしても、悲しくなってしまいました。けれども、王様を喜ばせたいとも思いました。王様は約束して言いました。大勢の人たちを助け、またたくさんの新しい友だちができるのだから、もどってくる時には、今までよりも、はるかに幸せになるだろう。

しばらく 考えてから、王子は父に、その任務を行うと言いました。

(王様#2と 王子#4を取り外して、代わりに 王様と 王子#8を置く。)王子が国を出る時、王様は王子の胸に手を当てて言いました。「おまえに、人々の心を変えるふしきな力を授けよう。みんなも、われわれがここで持っている愛を授かって、愛に満ちた暮らしができるようにな。そうすれば、人々はもっと幸せになるじゃろう。」

「ありがとう、お父さん。みんなが、ぼくたちみたいに幸せな暮らしができるようにお手伝いできるのが楽しみです！」と、王子が言いました。

(すべての ピースを取り外す。)

(王子#9と 村#10を置く。)何日も何日も旅した後、王子はやっと、山の向こうの村に着きました。

とまれる **(ばしょが 見つかると)**王子は、村人たちがどんなふうに暮らしているかを見に出かけました。草地になった公園に来ると、子どもたちが遊んでいました。**(村#10を取り外して、子供たち#11を置く。)**王子が辺りで見かけない顔だと気づいて、何人かの子どもたちが話しかけてきました。まもなく、王子は子どもたちに加わって、いつしょに遊ぶまでになりました。**(すべての ピースを取り外す。)**

(王子#12と ピース#13-17を置く。)しばらくすると、日が地平線の向こうにしづみ始め、遊び時間も終わりました。新しい友だちは王子に、いつしょに遊べてすごく楽しかった、また遊んでね、と言いました。王子は、うんと返事をしました。それからというもの、王子は毎日午後になると公園へ行って、新しい友だちといっしょに遊ぶようになりました。

王子は友だちに、お父さんの話や、自分の住んでいる国にあるお城の話をしたりしました。お父さんが国民をとても深く愛していて親切なこと、お父さんが人々のめんどうを非常によく見てあげているので、王国にはだれも貧しい人がいないことなどを話しました。王子は、会った子どもたちの一人一人がみんな、自分も仲間だと感じられるように、気を配りました。だれかがケガをした時には、立ち止まってその子を元気づけてあげました。すると、その子はすぐに立ち直ります。

むらじゅう ある
村中をめぐり歩きながら、王子は会う人みんなに對して、同じようにやさしく、また親切にしました。たとえ、王子に不親切な人がいてもです。王子はたびたび、こまっている人を助けていました。

(ピース#17を取り外して #18と入れ替える。)ある日のことです。王子が子どもたちに、お父さんや自分の国についての話をしていたら、何人かの子どもたちがあざ笑って言いました。「君の話はあまりにも良すぎて、信じられないな。そんなにすごい場所があるとか、君のお父さんが国民のめんどうをよくみてくれるなんて、あり得ないよ。」

すると、ほかの子どもたちが言いました。「だけど、王子はぼくたちにも、会う人みんなにも、とっても親切だよ。王子が病気の人に手をふれたら元気になったのも見たしね。王子が言っていることは、本当だよ！」

「ぼくたちは、君を信じるよ！」子どもたちが王子に言いました。「君はいつだって明るくて陽気で、ぼくたちは前よりもずっとずっと幸せだもの。もっと話を聞かせてよ。」

(王子#12を取り外して、代わりに王子#19を置く。) 王子は、自分を信じてくれた友だち一人の胸に手を置いて、言いました。「お父さんが、ふしきな力をくれてね。その力で、君たちの暮らしを、もっと大きな喜びと愛でいっぱいにできるんだ。そのおくり物を今、君たちにもあげるね。」

王子が子どもたち一人一人の胸に手を当てていくと、子どもたちの心は喜びと愛で満ちあふれました。そして、この新しい友だちがしてくれたように、自分たちも、ほかの人たちを愛し、助け、みんなに親切にしてあげたくなりました。また、このおくり物を、自分の知っている人たちにもあげたくなりました。

「ぼくたち、君を村の人たちに紹介するから、このすばらしいおくり物を、その人たちにもあげてくれないかな。」と、一人の子が王子に言いました。

(王子#19を取り外して、代わりに王子#20を置く。) 「ぼく、もうすぐお父さんの所へ帰らなきゃいけないんだ。だけど、君たちがほかの人たちにもこのおくり物を分けてあげたいと願っているから、お父さんがぼくにくれたのと同じこのふしきな力を、君たちにもあげたよ。このおくり物は、おたがい同士や、会うすべての人たちに对して、やさしく親切になるのを助けてくれるからね。だから、君たちも、ほかの人たちの心や暮らしをより良くするお手伝いができるよ。」

いよいよ若い王子がお城にもどる時になると、親しい友だちにこう言いました。
「出て行って、会うすべての人に、お父さんやぼくのこと、それに、ぼくたちのすばらしい国を伝えてほしい! 君たちの言うことを信じる人たちには、その人たちの胸に手を置いて、ぼくが君たちにあげた、この力を使うといい。そうすれば、その人たちの暮らしも愛でいっぱいになって、もっと幸せで満ち足りたものになるよ。」

王子が去ると(王様と王子#8、それにお城#5を置く)、新しい友だちは王子の任務を引きつぎ、王様や王子のこと、それに彼らのすばらしい国について、ほかの人たちに伝え続けました。また、彼ら自身が感じているすばらしい喜びについても、話しました。

(ピース#21-24を一つずつ置いていく) 子どもたちは、王子がくれたふしきな力を使って、人々の暮らしも愛と喜びのすばらしいおくり物で満たされるお手伝いをしたのです。
(お城#5以外のすべてのピースを取り外す。)

(「ふしきな力!」#25を置く) そしてわたしたちも、このお話に書かれているような、すばらしいふしきなおくり物を受け取ることができますよ。2,000年以上も前に、神様はご自身の息子であるイエス様をこの地上に送り出されました。神様がわたしたちに対して

持つておられるすばらしい愛を、わたしたちも知ることができます。(「神様の愛」#26を置く。) イエス様にとって、父のそばをはなれるのはつらいことだったけれど、わたしたちが、イエス様を救い主として信じ受け入れる時に受け取れるすばらしい救いのおくり物について知ることは、とても大切だと知つておられました。

神様のみ霊は、わたしたちを変えてくれるふしきな力のようです。それによって、暮らしもっと幸せに、また豊かになります。それは、神様の愛の証しです。もし神様の救いのおくり物をもらっているなら(イエス様#27を置く)、いつか永遠に神様の天国に住めるようになることを、楽しみにできます。(「天国」#28を置く。) 神様は、わたしたちを救うためにご自分の息子を送り出されるほど、わたしたちを愛しておられます!

神様がどんなに大きな愛であなたを愛しておられるかや、神様の救いのおくり物についてもっと知りたいなら、この小さなお祈りを祈つてみてくださいね。「神様、わたしにあなたの愛を下さるために、み子であるイエス様を送ってくださったことを信じます。わたしは、イエス様とイエス様の愛を、自分の暮らしの中に受け入れます。わたしは、永遠にあなたの天国でいっしょに暮らしたいです。どうか、わたしが今までにしてきたまちがいを、ゆるしてください。わたしを、あなたのすばらしい愛の力で満たしてください。ほかの人たちも、あなたの愛と喜びで満たされたより良い暮らしができるように、お手伝いできますように。アーメン!」

もしこのお祈りを祈つたなら、イエス様はあなたの心と人生の中に、永遠にとどまつてくださいます。いつもあなたのそばにいて、絶対にあなたからはなれることはありません。そしてあなたも、神様の天国で、永遠に、愛する親友イエス様といっしょに暮らすことができるのです。

み子を信じる者は永遠の命を持つ。(口語訳聖書、ヨハネによる福音書 3:36)
わたし来たのは、羊(イエス様を信じる人々)が命を得、またそれを豊かに持つためです。(新改訳聖書、ヨハネの福音書 10:10)

注:ほとんどのピースには、番号が付いています。鳥やネコやハートなど、番号が付いていないエキストラは、思い思いの場面で自由に使ってください。

寄稿:クリスティ・S・リンチ、マリア・フォンテーンの著書の編集 絵:ゼブとディディエ・マーティン

出版:マイ・ワンダー・スタジオ Copyright © 2015年、ファミリーインターナショナル

"The Prince & the Magical Power_Flannelgraph"--Japanese

関連の読み物はこちら⇒イエス様、フランネルグラフ